

2013年度第1回環境工学委員会建築設備運営委員会 議事録

■ 日時：2013年5月31日（金） 17：00-19：00

■ 場所：建築会館（東京都港区）

■ 出席者：郡公子、長井達夫、長谷川巖、赤司泰義、石野久彌、古賀誉章、佐々木邦治、高草智、清水昭浩、羽山広文、細淵勇人、三浦克弘、森川元樹、横山計三、吉田治典

■ 配布資料

1. 資料 1-1 建築設備運営委員会 2013年度第1回 議事次第
2. 資料 1-2 建築設備運営委員会 2012年度第6回 議事録案
3. 資料 1-3 建築設備運営委員会 2013年度委員会活動計画案
4. 資料 1-4 第9回建築設備シンポジウム「環境建築の新たな展開に向けて」関連資料
5. 資料 1-5 2013年度第1回環境工学本委員会 議題
6. 資料 1-6 会員外委員委嘱について
7. 資料 1-7 各小委員会議事録

■ 議題

1. 前回議事録確認（資料 1-2）

- ・異議なく了承された。

2. 2013年度活動計画について（資料 1-3）

- ・設備シンポジウムの開催、小委員会を中心とした活動、等
- ・委員は31名

3. 環境工学本委員会（資料 1-5, 6）

- ・来年度の大会は神戸大（9月）
- ・予算は適正に消化してほしい
- ・委員会資料をオンラインストレージにアップロードできるようになった
- ・今年度大会（札幌）は7,000題で過去最大。若手表彰を今年度から実施するかどうか議論になっている。
→ 設備運営委員会としては、各会場の司会者が推薦し（評価シートに記入してもらう）、集約して表彰者を決定する方法が好ましいと考える。この方法であれば、今年度から実施可能と考える。

4. 小委員会報告（資料 1-7）

- ・ヒューマンファクターに配慮した環境構築小委員会：今年度からスタート。1年目は情報収集、2年目にシンポジウムを予定。第1回目の小委員会ではフリーディスカッションを行った（横山）。
- ・建築気象データ小委員会：紫外域日射量予測、拡張 AMeDAS 気象データ整備等を目的として

いる。6月に委員会開催予定（細淵）。

- ・ 環境設備に関する学会規準（AIJES）における性能レベル検討小委員会：2回委員会を開催。2,000m²程度の事務所ビルを対象に設計標準データを収集する。シミュレーションによっても検討を進める方針（森川）。
- ・ 次世代排水システム小委員会：従来の排水システムではカバーできないシステムを対象にしたガイドライン作成を目的としている。本年度は2年目で、第1回目委員会では委員構成の確認等を行った（古賀）。
- ・ 環境建築システム小委員会：今年度が1年目。環境建築についての情報収集、動向把握、教育普及を目的としている。教育普及として、出版を企画（長井）。
- ・ ガラス建築快適環境WG：海外の開口部に関する情報収集を行っている。出版に関してガラス建築のみでなく、ファサードと環境という広いテーマを考えている（佐々木）。

5. 設備シンポジウムについて（資料1-4）

第一部：「話題の環境建築に学ぶ」、第二部：「最新研究に学ぶ」として、講演者・講演内容について、原案（資料No.1-4-1）をもとに議論した。

- ・ 総合討論では、パネラー間の議論が活発化するようにしたい。なお、昨年度と異なり、各講演に対する質疑も総合討論の時間内で行う
- ・ プログラム構成や講演内容については原案のとおりとする。ただし、第2部の各発表タイトルは変更の可能性もある。
- ・ 講演者への依頼、タイトルの確認、原稿の取りまとめについて講演タイトルごとの担当者を以下のとおりとする。

1-1：長谷川

1-2：三浦（対象は設備）

1-3, 1-4：長谷川

1-5, 1-6, 1-7：石野

2-3, 2-4：横山

2-5：郡

2-6：羽山

- ・ 今後の作業手順については、プログラムの確定（6/14までに各担当者は講演者氏名とタイトルを長谷川幹事まで連絡する）、学会から講演者への正式な依頼（榎本氏へ作業依頼）、プログラムのHPへの掲載依頼（内容決定次第榎本氏へ）、原稿締切9/17とする。

6. 次回以降開催予定

9/19（設備シンポジウムの原稿確認、参加者数確認・広報）、11/28、2/21

場所は建築会館、ただし最終回は変更の可能性あり。

以上